

日本東洋医学会関東甲信越支部役員会 議事録

2024年3月20日(水)12:15～ 東京医科大学病院会議室 A

参加:代議員+都県部会長65名中35名

欠席:30名(委任状あり28名)以上により、本役員会は成立いたしました。

議事進行:支部長 並木隆雄(国際医療福祉大学成田病院)

1. ホームページ開設の件

【前回の役員会での決定】

各県のBOXを作成する。そこに県部会の情報やHPを載せることが可能になる。

テストページはすでに完成しているので役員にURLを送る。(事務局より)

年内に稼働予定。

更新は、事務局に更新内容を送ってもらい、事務局より正文社に依頼する。

運営資金は、支部の予算から年間5～60万程度を想定している。

煎じ薬の薬局一覧は医療者限定にする。

【その後の経過報告】

・正文社に依頼し、開設した⇒公開 2023年12月

・コンテンツは

■支部長の挨拶——掲載済み

■事業計画一覧——作成中

■煎じ薬の薬局一覧—可能(PWあり)

■各都県別のBOX(HPなどをリンク)

・最終開設費用は 392,306円 (支部の予算から支出すみ)

・年間の運営費は 228,956円

・更新は基本的に本部のHP更新に併せて行う予定(3ヵ月毎)

⇒本部に提出する教育事業のExcelの内容を支部のHPにも使用

その他更新したい内容があれば随時事務局へ原稿と共に送ってもらう

◎「関東甲信越支部」で検索してもらうと出てくる

薬局一覧も各県部会地区員の確認が終われば公開する

2. 予算案について(及川会計)

・2022年度の収支報告

⇒各県部会が教育事業を展開したおかげでプラスになっている

Web開催が増えたためか、会場費・旅費が予算より少なかった

・2024年度の予算案提出報告

⇒未提出の県は前年度同様になっている

現地開催が増える予想で会場費や旅費がプラスになっている

◎2023年度の収支報告は秋の役員会で報告予定

3. 今後の支部学術総会の予定および各都県部会からの報告

【今後の日程】

第80回(2024年) 群馬県部会 ※昌賢学園まえばしホール 10/27(日)

2025年は支部会中止

第81回(2026年) 茨城県部会

第82回(2027年) 千葉県部会

第83回(2028年) 新潟県部会

第84回(2029年) 長野県部会

◎演者もほぼ決まっている

一般演題もこれから募集予定(群馬県部会より)

4. 第75回学術総会の準備状況について(準備委員長 砂川先生より)

会頭:久光正 先生(昭和大学)

準備委員長:砂川正隆 先生

テーマ:東洋医学のエビデンス～漢方・鍼灸の実力と未来～

日時:2025年6月6日(金)～6月8日(日)

場所:京王プラザホテル

現地開催の予定、LIVE配信・オンデマンドは予算が難しそうだが、検討中

■関東甲信越支部 10 都県でシンポジウム→各県より準備委員の選出

【前回】

砂川先生より資料2部配布あり。

各県からシンポジウム企画の募集(合同でも可)各県から案を出して Excel で提出。

締め切りを3月31日にしているが、次回役員会3月20日に話せたらよいと思っているので

そこまで締め切り日を変更する可能性がある。

参加人数は、4000人を目標に現地開催の予定。

鍼灸のセッションも多くする予定。(共同で出来るか、話をすすめている段階)

支部の準備委員とは、メールまたは Zoom で会議をしていく。

【その後の経過】

・砂川先生より各都県部会宛てに1月4日に依頼メールあり

⇒シンポジウム企画の募集(24年2月末まで)

◎資料を2部配布

1) 各県部会からのシンポジウム案

- ・各県アピールのためにも何か企画を出してほしい
- ・合同でも OK
- ・ワークショップでも OK
- ・特別講演の提案も OK (現在千葉県部会から寺澤先生の講演案あり)
- ・関東甲信越支部からの提案を優先していきたいので何かあれば砂川先生に連絡がほしい

★群馬県

耳鼻科の内容で企画を考えていたが、埼玉県も耳鼻科の内容なので合同は可能か？

⇒テーマが違えば別々でも OK

★栃木県

痛みの漢方、ベストテンなどをやりたい

⇒このテーマで演者を探してほしい

★新潟県

用意あり、この後提出

★神奈川県

3/25 に会議があるので、その際に決める予定

★茨城県

4月中に会議があるので、その際に決めたい

2) 過去のプログラム (時間と演題数)

- ・教育、本部からの企画、学生のサークルイベントなども計画する予定
- ★学生: 昨年も企画あり、14大学80名ほどの参加、一から学生が企画する
- ・初心者も気軽に参加できるようにしたい
- ・一般演題

★一般演題への意見: ポスターをどうするか、

リアルで発表してもらう方がよいと思う

演題数が多すぎればポスターも良いが、リアルで発表してもらうほうが
気合いが入る

ポスターではなく、オンデマンドでの発表もありでは

★現時点で現地開催、オンデマンド予定。※ライブ配信は高いのではない予定

オンデマンドは部分的に

会場だけでしか聞けない講演も作る (業者の参加が少なくなってしまう可能性があるため)

★働き方改革などの影響もあるのでは

研修医、専攻医、学生の参加は平日の方がよい？

★準備委員

各県部会から1名以上選出、Zoom 会議の前に2024年の大阪会場で一度会議予定

5. 地区委員会からの報告(地区委員長 新井先生より)

- ・専門医のアンケート結果の報告(まだ20%くらいの回答率)
⇒煎じ薬を使う先生が少ない
- ・専門医のスキルアップを図る
- ・薬局リストを各県で確認してもらい、ホームページに掲載する

6. その他

★春季教育講演会の継続について

- 毎年点数救済のために開催していたが、Webで参加出来る講演会が増えたためか
今年の参加者は少ない(100人以下、コロナ禍前は200人くらい)
- ・確認問題など出して参加基準を高くする
- ・廃止でもよいのでは(赤字になってまでも開催することはないかと、)
- ・47都道府県あると、毎週どこかで学会が開催されている
⇒学会の整理が必要なのでは?(本部への提案)
- ・今回3回メルマガを流したが、オンデマンド配信があればもう少し増えるかも
- ・祝日に出来ない人も多いのでは

★神奈川県部会

会長が山川先生から石上先生に交代しました

次回 定例会合 10月27日(日) 支部総会<群馬>の昼休み時刻の予定